

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和9年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

## 生活文化学専攻

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和8年7月4日(土)

### 注 意

1. 試験科目は、受験票の志望研究領域の第1志望に記入した科目を選択すること。  
選択にあたっては、別紙「志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について」を参照すること。
2. 解答は、別添の解答用紙を使用すること。必要に応じて複数枚を使って構わない。  
（2枚同封、3枚目以上は監督者に申し出ること。）
3. 使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名及び選択した試験科目名を記入すること。
4. 総ページ数 — 3ページ（1ページ目は下書き用紙）

1. 以下の図 1 は、夫婦が結婚相手と知り合ったきっかけに関する調査の結果について、1980 年代から 2021 年までの変遷をまとめたものである。それをふまえ、以下の（１）（２）の各問に解答しなさい。

**結果表は、著作権の関係で掲載しておりません。**

出典：国立社会保障人口問題研究所（2023）『現代日本の結婚と出産——第 16 回出生動向基本調査（独身者調査ならびに夫婦調査）報告書』 p.49.

- （１）夫婦が知り合ったきっかけに関して、図から読み取れる 1980 年代から 2021 年までの経時的変化の動向を簡潔に説明しなさい。（字数指定なし）

- (2) とくに第 16 回調査の結果に注意し、現代の夫婦・恋愛関係に生じている変化について、アンソニー・ギデنزの『親密性の変容』(*The Transformation of Intimacy: Sexuality, Love and Eroticism in Modern Societies*) (Giddens 1992=1995) における「純粋な関係性 (pure relationship)」概念の観点から考えられることを論じなさい。(字数指定なし)

2. 以下から **1 問のみ選択して** 解答しなさい。(字数指定なし)

- (1) 日本の現行の結婚制度にはいくつかの問題があることが学術的に指摘されてきた。そのうち具体的な問題点を 1 つ挙げ、①それによって排除されうる関係性や誰かが不利を被る場合はどのようなものを述べたうえで、②その問題点について国内ではどのような議論や意見、社会運動があるのかを論じなさい。なお、フランスのパクス (民事連帯契約 (Pacte Civil de Solidarité)) やスウェーデンのサムボ (Sambo) などと比較してもよい。
- (2) 少子化の代表的な指標とされる合計特殊出生率の 2025 年の概数値が先日公表され、1.14 と過去最低を更新する低い値であった。①1990 年代以降の日本における少子化の背景について、ジェンダーの観点から説明したうえで、②現在、国や自治体で取り組まれている少子化対策のための施策や制度の例を挙げ、その効果について考えを述べなさい。